

消 防 訓 練 通 知 書

平成 28 年 10 月 12 日			
奥州金ヶ崎行政事務組合 消防署長 様			
防火管理者 職 名 事 務 長 氏 名 小 原 琢 哉 ㊦			
事業所の所在地	岩手県胆沢郡金ヶ崎町六原坊主屋敷 3 6 - 1		
事業所の名称	グループホームぽっかぽっかの家 特別養護老人ホームあすなろ	用 途	認知症対応型共同生活介護 介護老人福祉施設
所有（管理）者名	社会福祉法人やまどり福祉会 理事長 新田 義雄		
実施日時	平成 28 年 10 月 24 日 10 時 30 分から 11 時 30 分まで		
訓練種別	1 消火訓練 2 通報訓練 ③ 避難訓練 4 総合訓練 5 その他（ ）		
参加人員	55 名	問合せ先	担当者 小 原 琢 哉 電話 0197-41-9211 内線
消防職員の立会	要 ・ 不要		
訓練指導 予定業者等			
訓練概要（具体的に記入すること。） 1. 別紙「消防訓練計画書」に基づき行います。 2. 厚労省及び県からの指導もあり、今回は水害・土砂災害を含む非常災害時の避難訓練を実施します。 3. 台風 20 号と秋雨前線による影響で大雨になり、千貫石ため池と櫓引沢ため池が氾濫し、大規模な洪水が発生、町より避難準備情報が出されたと想定し、訓練を実施します。 4. 飲料水、備蓄食品等の確認と発電機作動確認、災害用伝言ダイヤル利用確認を実施。			
※ 受 付 欄	経 過 欄		

備考

- 1 ※は記入しないこと。
- 2 訓練計画書を添付すること。

避難訓練計画書

1. 訓練日時

平成28年10月24日(月) 午前10時30分～

2. 台風に伴う大雨の影響で千貫石、櫓引沢ため池が氾濫し大規模洪水の発生場所

岩手県金ケ崎町全般(特に西部地区、南方地区を中心)

3. 避難場所

特別養護老人ホームあすなろ「地域交流ホール」

4. 訓練内容

- ・午前10時30分、金ケ崎町より避難準備情報が発令される。
- ・ぽっかぽっかの家に内線にて連絡し、あすなろ「地域交流ホール」に避難するよう指示する。
- ・ぽっかぽっかの家職員は雨具等を準備し、避難準備情報の段階なので焦らずゆっくり確実に入居者をあすなろ「地域交流ホール」に誘導する。
- ・同時に非常用放送設備により、「地域交流ホール」に一旦避難するよう指示する。
- ・職員は入居者に対し恐怖感等を取り除く、「言葉使い」「冷静な行動」を心掛ける。
- ・職員は入居者に現状報告と職員の指示に従うよう依頼する。
- ・職員は入居者を指定された避難場所に誘導を開始する。
- ・職員は入居者の点呼、心身状態を確認し非常災害対策長に報告する。
- ・看護師は入居者の状態確認を行い非常災害対策長に報告する。
- ・問題がなければ、あすなろ入居者は各ユニットに戻り待機、ぽっかぽっかの家の入居者はそのままホール指定場所にて待機する。(外部災害時要配慮者受入のため)
- ・指定職員はホールに集合し飲料水、備蓄食品の確認、発電機作動確認、災害用伝言ダイヤルの利用確認を行う。
- ・以上をもって災害時避難訓練を終了とする。

4. 講 評

- ・非常災害対策長(理事長)より講評を頂く。

5. 避難訓練終了予定時間

避難訓練フローチャート

実施日 平成28年10月24日

時 間 設 定	訓 練 内 容
<p>* 避難訓練実施 連絡及びアナウンス (10:30～10:40)</p>	<p>①午前10時30分、金ケ崎町より大規模水害の避難準備情報が発令される。 ②事務所職員は非常用放送設備により、地域交流ホールに入居者を避難させる様指示する。ぽっかぽっかの家には内線で地域交流ホールに避難するよう指示する。 ③職員は入居者に状況報告し、冷静に行動、指示に従うよう依頼する。</p>
<p>* 避難誘導 (10:40～10:55)</p>	<p>①職員は入居者の状態を確認の上、迅速に避難場所に誘導する。尚、誘導は、あすなろは各ユニット職員1人+α、ぽっかぽっかの家は出勤者全員で対応し、雨具を準備し誘導する。 ②ぽっかぽっかの家職員は避難経路に洪水による障害物が散乱していないかの確認を行い、焦らずゆっくり確実に誘導する。 ③入居者で歩行可能な方は、入居者同士手をつなぎ、声を掛け合い避難場所へ誘導する。 ④車椅子利用者については職員が介助しながら誘導する。 (ベット臥床者は除く) ⑤それぞれ指定誘導場所に誘導を完了させる。</p>
<p>* 避難誘導終了 (10:55～11:05)</p>	<p>①職員は地域交流ホールに入居者を誘導後、直ちに点呼、心理状態を確認し、非常災害対策長に報告する。 ②看護師は入居者の状態確認を行い、非常災害対策長に報告する。 ③問題がなければ、職員、入居者は指定場所で待機する。</p>
<p>* 避難訓練終了 (11:05～11:15)</p>	<p>①講評を非常災害対策長（理事長）より頂く。 ②あすなろ職員は、入居者を一旦リビングに待機させる。ぽっかぽっかの家の職員は一旦その場で待機。 ③外部からの災害時要配慮者の受入確認を行い、訓練終了とする。 ④ぽっかぽっかの家の職員は、入居者をグループホームまで誘導する。 ⑤指定職員は地域交流ホールに集合する。</p>
<p>* 飲料水、備蓄食品、発電機作動確認等 (11:15～11:30)</p>	<p>①指定職員による、受水槽での飲料水等の確認作業(バケツ等を利用)を行う。 ②指定職員による、発電機作動確認作業を行う。 ③指定職員による、災害用伝言ダイヤルの利用確認を行う。</p>

* 指定職員

ぽっかぽっかの家：高田圭一

あすなろ：事務所職員、看護師1名、各ユニット早番職員 合計9名

大規模水害を想定しての避難訓練実施結果表

実 施 日 時	平成28年10月24日 10時30分 ～ 11時20分		
実 施 根 拠	消防計画の定期・臨時・応援協定・国等行政指導	実施計画書	有・無
実 施 場 所	特別養護老人ホーム あすなろ 地域交流ホール	参加人員	55名
実 施 範 囲	建物： 全体 ・ 部分 （ ホール、厨房、ボイラー室 ）		
	参加事業所・参加部門	特別養護老人ホームあすなろ・ぽっかぽっかの家	
実 施 内 容	1. 総合・消火・消火実放水・通報・避難・検証 2. 安全防護・応急救護・地震 ・大規模水害(避難準備情報段階)		
訓 練 対 象 者	1. 職員(全員・一部) 2. 利用者(全員・一部) 3. 上の町自治会員 4. 第4分団第2部消防団員		
訓 練 想 定	火災・地震・その他(大規模水害)	場所(金ヶ崎町全般、特に西部、南方地区)	
訓練時確認事項	1. 備蓄食品、飲料水、非常時用の非飲料水等の確認 2. 停電を想定しての発電機の作動確認作業 3. 災害用伝言ダイヤル利用方法確認等		
結 果 へ の 意 見	全体評価 推奨事項・反省点	今回は、国・県等行政からの指導もあり大規模な水害、土砂災害を想定しての避難訓練を実施。当施設が町との確認で避難場所に適してるとのことで、ゆっくり確実に避難誘導を行うことが出来た。地域からの受入も想定しての訓練を実施できたことも大きい要因である。また、備蓄食品、飲料水、発電機、伝言ダイヤル等の確認は定期的に必要と考える。	
記 入 者	小原 琢哉		